

## 入学式式辞

春の訪れと共に、新しい風となって高知工業高等専門学校に、ソーシャルデザイン工学科 6 期生 170 名、留学生 3 名、そして、専攻科 17 名の学生諸君が入学されました。在校生ならびに教職員一同、心から歓迎いたします。

今日の式典を何より楽しみにされてきた保護者のみなさまには心からお祝い申し上げます。

本校は、1963 年に 3 学科の高専として設立され、その後 4 学科体制となり、学科改組及び名称変更等を経て、平成 28 年度からソーシャルデザイン工学科 1 学科 5 コース制に学科再編を行いました。

その目的は、第 4 次産業革命により向かおうとしている新たな社会、Soceity5.0 の社会のニーズに対応するためであり、産業構造及び就業構造が大きく変わると言われている時代に対応するためです。高専は、創立当時から日本の高度成長期を支え、これまで産業界から高く評価されてきましたが、これからは、さらに高度な資質を備えたエンジニアが求められています。

本校の教育方針は、「学生が自ら進んで実践することによって、学問的、技術的力量を身につけ、道徳心を養い、新しいものをつくりだす力をつけた品格のあるエンジニアとして、国際社会を主体的に生きることを目指せ」と言うものです。みなさんには、こうした時代の中で活躍できるよう、目を世界に向けて、多くのことに興味を持ち、知性と感性を磨いてほしいと思います。

新入生のみなさんは、高知高専での生活に胸を膨らませていることと思います。これから本校で勉学を進める上で意識してほしいことについてお話します。

一つは、みなさんが学ぶ専門の理論と技術の基礎を使えるところまで身につけることです。そのために高専の行ってきたことは、頭と手の両方を使って学ぶことです。座学によって頭で学んだことは、実験・実習によって手で確認する。また、実験・実習によって手で学んだことを座学によって頭で確認する。これを繰り返すことで、理論と技術の基礎が身に付き、それを応用して使えるところまで自分のものとすることができます。

二つ目は、専門を 2 つ以上身に付けるよう努力してほしいことです。たとえば、

機械工学が専門だけど情報工学もわかるよとか、化学工学が専門だけど電気・電子工学もわかるよとか、土木工学が専門だけど建築もわかるよ、というようなことを言っています。現代はさまざまな技術を融合・複合してものが作られていますので、2つ以上の専門を身に付けていることは、人と違った発想ができるという大きな強みがあるのです。

また、思わぬ技術の組み合わせでイノベーションを起こすことができます。我々に求められているのはイノベーションを起こす力です。そのためにいろいろなものに興味を持ち、たくさんのかんことを身に付けた人材になってほしいと思っています。

みなさんは3年生でコースに分かれるまで、いろいろな専門を学びますので、複数の専門を身につける機会が多いと思っています。ぜひ、チャレンジしてください。

今年も、高知高専で学ぶ3名の留学生をお迎えしました。遠く祖国を離れ、言葉も生活習慣も異なる日本で勉強するのは大変なことだと思いますが、高知の生活になじみ、日本人学生や高知の人々との交流を深めてください。そして、母国の発展に貢献できるエンジニアに成長されることを期待しています。

専攻科入学のみなさん、専攻科は2年の課程を修了後、大学卒業と同じ“学士”の学位が与えられます。2年間は決して長い時間ではありませんが、修了時には立派な学位論文が仕上がるように努力して下さい。

若いみなさんには大きな可能性があります。みなさんの力で次の時代が作られます。失敗を恐れず、何度でもチャレンジして壁を乗り越え、成長してください。

次にお願いしたいのは、たくさんのかんを作ってください、ということです。一人一人は価値観も考え方も違います。人と接することを避けるようになると、自分と似た考え方の人たちと固まるようになります。それでは自分の枠を広げることができません。いろいろな考えに触れる中で自分の幅を広げていてもらいたいと思います。

また、技術の中で情報技術は文系・理系を問わず、社会の共通の基礎技術となっています。興味を持って学べば必ず君たちの血と肉となり、将来のあなたをさらに大きくするものなので、積極的に取り組んでください。

最後に、課外活動について話をします。課外活動は青年期における健全な人間形成に非常に有用であると言われていています。本校にもたくさんのクラブがあり、自分に合ったクラブが見つかると思います。ぜひ活動に参加して充実した学生生活を送ってください。

活動の中には、高専と名のつく有名なものがたくさんあります。高専ロボコン(ロボット・コンテスト)、高専プロコン(プログラミング・コンテスト)、英語プレコン(プレゼンテーション・コンテスト)、高専 DCON(ディープラーニング・コンテスト)、高専防災コンテスト、そしてデザイン力を競う高専デザコン(デザイン・コンペティション)などです。これらの大会に、みなさんもチャレンジしてください。

高専は、自ら取り組む人にとっては非常にやりがいのある学校です。いろいろなことに挑戦し、あなたの夢を実現させてください。

この場を借りて新型コロナウイルス感染症への対応の心掛けをお願いしたいと思います。それは、「自分の安全が他人も守り、他人の安全が自分も守る」という考えです。自分が気を付けることが、他の人のためにもなり、他の人が安全になることで自分の安全も強固になるというものです。マスク、手洗い、手指消毒など、私たち一人一人が心掛けましょう。

自然あふれるこの高知の地で、みなさんがたくましく学生生活を送り、一生の友となる友人を多く作られることを願って式辞とします。

令和 3 年 4 月 4 日

高知工業高等専門学校長  
井瀬 潔